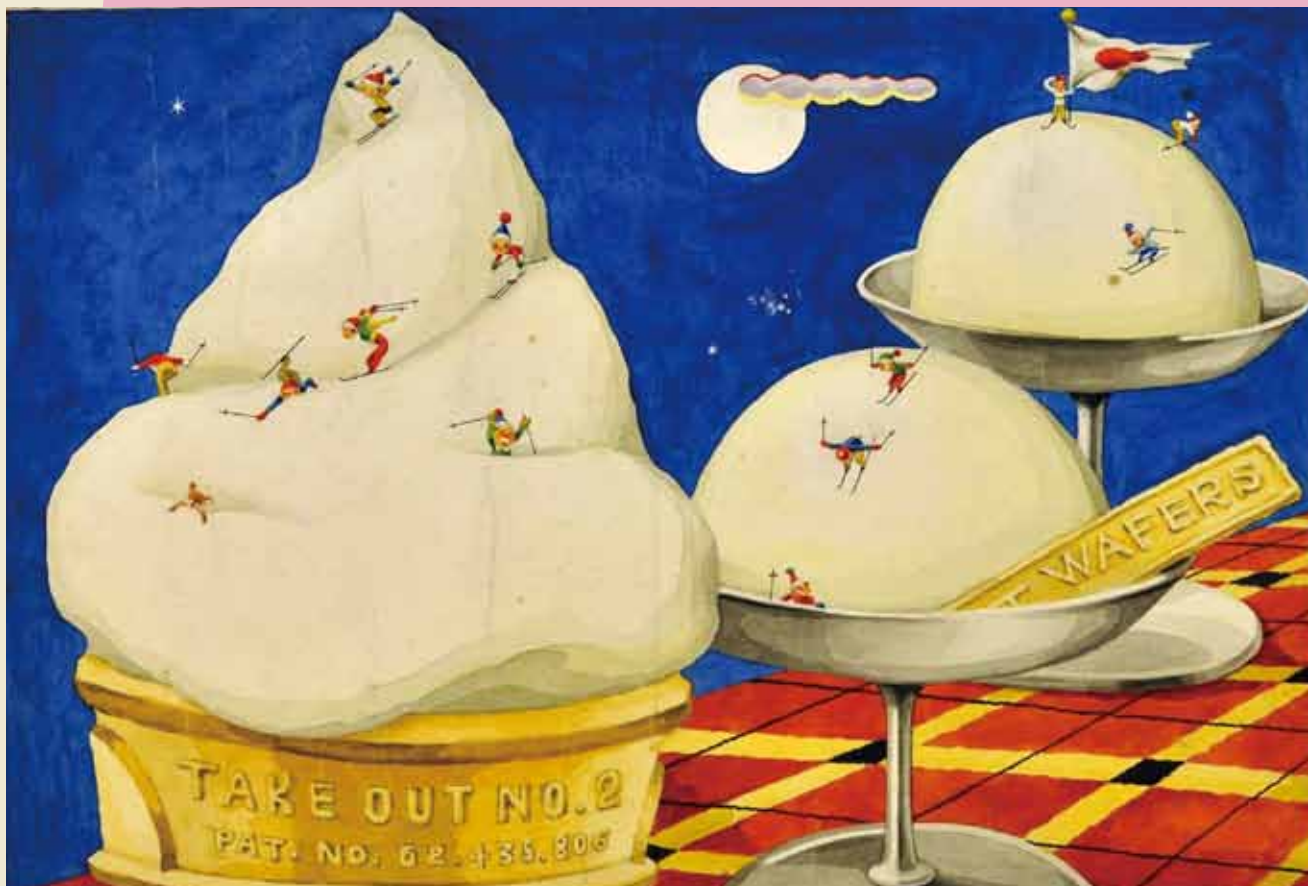


童画の先駆者 武井武雄と初山滋。そして二人に憧れた 秋岡芳夫。



武井武雄《あいすくりーむのやまですべろ》1957年／水彩・クレヨン・紙／イルフ童画館蔵

子どもの心を持ち続けた大人たちの、子どものための本物の絵—童画の国へようこそ

# 童画の国から

物語・子ども・夢

2016年7月16日(土)～9月4日(日)



初山 滋《落ち葉》制作年不詳／水彩・紙／イルフ童画館蔵



秋岡芳夫《蟻の巣みつけたよ》1954年／着彩紙／目黒区美術館蔵

## 目黒区美術館

Meguro Museum of Art, Tokyo

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

Tel. 03-3714-1201 / <http://www.mmat.jp>

午前10時～午後6時[入館は午後5時30分まで]

月曜休館[但し、7月18日(月・祝)は開館、翌日19日(火)は休館]

一般 600(450)円、大高生・65歳以上450(350)円、中小生以下無料

障がいのある方は半額・その付添者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金

主催:公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協力:イルフ童画館、ちひろ美術館、弥生美術館

# 童画の国から

物語・子ども・夢 2016年7月16日(土)～9月4日(日)



武井武雄《「イソップモノガタリ」表紙(原画)》制作年不詳/インク、水彩・紙  
イルフ童画館蔵



『Codomo no Kuni』創刊号(表紙画:武井武雄)  
1922年1月/イルフ童画館蔵



武井武雄《たのしいぶーる》1957年/水彩・クレヨン・紙  
イルフ童画館蔵



秋岡芳夫《作品(ジャングルジム)》1950年/着彩・紙  
目黒区美術館蔵



初山 滋《「にんぎょひめ」》1967年/水彩・紙/ちひろ美術館蔵



秋岡芳夫《赤い家》1948年/着彩・紙/個人蔵



初山 滋《「ペコ・ポンポン」》1934年/インク・鉛筆・紙/ちひろ美術館蔵



初山 滋《「不思議の国のアリス」》1928年  
水彩・紙/ちひろ美術館蔵

大正から昭和にかけて、絵雑誌『Codomo no Kuni』(1922年創刊)を中心に、モダンで感性溢れる作品で多くの子どもの心をつかえた武井武雄(1894-1983)と初山滋(1897-1973)。二人は日本の童画界をリードした偉大なパイオニアです。武井が描いた愛くるしい登場人物と想像力をくすぐる不思議な世界、初山の優しく流麗な線描やみずみずしい色彩が輝く世界は、今なお多くの人々を魅了します。

「童画」という言葉は、子どもに与えるために大人が描いた絵を指す言葉で、1925年に武井武雄が使い始めました。当時、子ども向けの絵という、童話や童謡の添えものとして軽視される傾向にありましたが、子どもにこそ「本物」を、と考えた武井や初山は、子どものための絵に、初めて真摯に向き合い、高い芸術性を持ち込みました。楽しさや夢、希望に満ちた彼らの作品は、子どものまなざし、子どもへのまなざしを深くたえ、子どもの心と感性を育み、大人になっても心の奥に残る大切な贈りものとなったのです。

目黒ゆかりの工業デザイナー秋岡芳夫(1920-1997)も、武井と初山の贈りものを受けとった一人です。工業デザインを出発点に多彩で先駆的な仕事を残した秋岡ですが、その原点に童画があったことはあまり知られていません。武井と初山が活躍した『Codomo no Kuni』を愛読していた秋岡は、戦後もなく彼らを中心に「日本童画会」が創設されると早速入会し、憧れだった初山に師事し1950年前後には多くの童画を描きました。やがて仕事の中心がデザインとなっても、秋岡もまた武井や初山と同様、子どものための仕事を、子どもの立ち位置から、同じ関心領域から捉えるまなざしを持ち続けました。

本展では、武井武雄と初山滋の戦後期の作品を中心に、彼らに導かれた秋岡芳夫の作品も交え、魅惑的な童画の世界をご紹介します。「物語」、「子ども」、そして「夢」をキーワードに、ノスタルジーと希望の交錯する「童画の国」をお楽しみください。

優れた童画は、優れた感性と技術を持ちつつ子どもの心をつかまない大人だけが描けるものといえるでしょう。本展を通じて、わが国の子どもの感性を長年にわたって育んだ二人の偉大な童画家、武井武雄と初山滋、そして秋岡芳夫の作品の魅力に触れていただければ幸いです。

JR山手線・東急目黒線  
東京メトロ南北線・都営三田線  
目黒駅下車徒歩10分

東急バス  
権之助坂(目黒通り)下車徒歩5分、  
田道小学校入口(山手通り)  
下車徒歩3分

目黒区民センター敷地内

**目黒区美術館**  
Meguro Museum of Art, Tokyo  
〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 Tel. 03-3714-1201  
<http://www.mmat.jp>

同時開催 ワークショップ「童画と絵本」

本展会期中の土日や8月中旬を中心に、ワークショップ「童画と絵本」を開催します。童画家たちも数多く手がけた「絵本」にまつわる内容で、子どものコース、大人のコース、ご家族で参加できるコースなど多彩なコースを開催します。(要申し込み)  
また、ご入館された方ならだれでも自由に参加できる「遊びの広場」(設定日のみ)も開催します!  
※申込方法、実施日等の詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

※本展会期中に当館学芸員が展覧会や所蔵作品についておしゃべりする「大人のための美術カフェ」の開催を予定しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

《メルマガ会員募集》  
メルマガ会員募集中  
<https://service.sugumail.com/mmat/>

